

学校等建物の耐震補強状況一覧

平成23年11月現在
王寺町教育委員会学校教育課

幼稚園名 学校名	園・校舎		建築時期 (年.月)	面積	耐震診断結果				耐震補強				備 考
	種別	棟番号			診断年度	Is値	CTuSD値	q値	工事年度	Is値	CTuSD値	q値	
王寺幼稚園	園舎	001	S45.3	490 m ²	H22	0.35		0.47	H23	1.08		1.45	耐震化完了
王寺北幼稚園	園舎	001	H19.5	1,087 m ²	不要								S57以降建築の為診断不要
	園舎	002	H7.1	202 m ²	不要								S57以降建築の為診断不要
王寺南幼稚園	園舎	001	S62.3	760 m ²	不要								S57以降建築の為診断不要
王寺小学校	校舎	001	S34.6	845 m ²	H21	0.14	0.51		H22	0.72	0.78		耐震化完了
	校舎	002	S35.3	836 m ²	H21	0.31	0.33		H22	0.76	0.81		耐震化完了
	校舎	003	S45.3	1,001 m ²	H21	0.39	0.39		H22	0.73	0.39		耐震化完了
	校舎	004	S45.8	1,001 m ²	H21	0.12	0.39		H22	0.73	0.39		耐震化完了
	校舎	006・007	S41.3	2,064 m ²	H21	0.33	0.36		H22	0.75	0.59		耐震化完了
	体育館	015	S54.2	1,076 m ²	H21	0.34		0.66	H22	0.75		1.20	耐震化完了
王寺北小学校	校舎	001	S51.3	2,310 m ²	H7	0.52	0.31		H8	0.84	0.41		耐震化完了
	校舎	002	S51.5	2,180 m ²	H7	0.58	0.43		H8	0.70	0.49		耐震化完了
	校舎	003	S51.5	600 m ²	H7	0.58	0.32		H8	0.86	0.33		耐震化完了
	体育館	005	S51.5	965 m ²	H21	0.68		1.10	H22	0.73		1.04	耐震化完了
王寺南小学校	校舎	001	H1.3	4,446 m ²	不要								S57以降建築の為診断不要
	体育館	002	H1.3	1,026 m ²	不要								S57以降建築の為診断不要
王寺中学校	校舎	001	S39.3	1,945 m ²	H22	0.19	0.27		H23	0.73	0.78		耐震化完了
	校舎	002	S43.3	1,030 m ²	H22	0.12	0.34		H23	0.75	0.81		耐震化完了
	校舎	008・014	S47.2	1,530 m ²	H22	0.59	0.60		H23	0.76	0.78		耐震化完了
	体育館	013	S49.3	2,060 m ²	H22	0.33		0.37	H23	0.78	0.80	2.67	耐震化完了
王寺南中学校	校舎	001	S58.2	3,986 m ²	不要								S57以降建築の為診断不要
	校舎	008	H3.2	856 m ²	不要								S57以降建築の為診断不要
	体育館	002	S58.2	1,386 m ²	不要								S57以降建築の為診断不要

・耐震診断の対象は、昭和56年以前の旧耐震基準で設計された非木造で階数が2階以上又は床面積が200m²を超える建物です。
(昭和57年以降に建築された建物は「新耐震設計基準」に基づき設計されているため、補強の必要がありません)

※「Is値」・・・構造耐震指標。建物が持つ耐震性能を表し、数値が高いほど耐震性能が高い。学校施設はIs値が0.7以上必要。

※「CTuSD値」「q値」・・・地震による水平方向の力に対してそれに対応する建物の強さを表す数値で、一般的に鉄筋コンクリート造は「CTuSD値」を、鉄骨造は「q値」として表記されます。学校施設はCTuSD値が0.3以上、q値は1.0以上必要。

※「新耐震設計基準」・・・昭和53年の宮城県沖地震に基づき、昭和56年に現在の耐震設計基準が施行され(建築基準法の改正)、建築物の確認申請の受付日が昭和56年6月1日以降の建築物については、新耐震設計基準に該当します。新耐震設計基準の特徴としては、稀にしか生じない大地震(震度6・7)に対して、建物の変形が過大にならず、壁等の配置が不釣合にならないように設計し、破損しても建物を使う人の安全を確保するよう設計されています。